

行雲流水

No. 3 4 8 令和5年10月17日発行

「はたらく」ということは

校長 寒河江 正人

新生徒会役員を目指す**立候補者15名**の生徒諸君。

いよいよ明日、**生徒会役員選挙**が行われます。

堂々と「**自分の思い**」を「**公約**」という形で伝えて欲しい。

どんな結果であれ、決して「**悔いのない演説**」を期待しています。

人はみな、「**日頃の「働く姿」の積み重ね**」が、**揺るがぬ信頼を生む**ものです。

一つ、こんな**お話**をしましょう。

時代劇ドラマの1シーンのこと。

商いをしている母親が、跡継ぎとしては、まだ未熟な息子に語ります。

「**働く**とは、「**傍(はた)を楽(らく)にする**」ということなのだよ。」と・・・。

誰かの言葉の引用なのか、脚本上の創作に過ぎないのか、定かではありませんが、きっと、その母親は、

「**働く**」ということは、「**周囲の身近な人や世の中の人、つまり、他者に貢献すること**」、それをもって、「**周囲が、日々の生活を楽しい・充実していると感じさせること**」こそが、「**働く**」ということを考える上では、

大切なことなのだよと、後継者である息子に伝えたかったのではないのでしょうか。

本校生徒会の**リーダー**が、

本校**生徒**のために「**働く(はたらく)**」ということは、

「**周囲の身近な人や世の中の人、つまり、他者に貢献すること**」

それをもって、「**周囲が、日々の生活を楽しい・充実していると感じさせること**」なのです。

そのための**リーダー**を選ぶ生徒会役員選挙なのです。

本校生徒会の**フォロアー**の諸君は、

そのことをよくよく胸に刻み、慎重に慎重に立候補者を吟味して、

「**信頼の一票**」を投じる明日の投票に臨んで欲しいと願っております。